

特定非営利活動法人
大阪市地域福祉施設協議会

総 会 議 案 書

2021年(令和3年)5月31日(月)

< 書 面 審 議 >

◆ 議 案 ◆

- ① 2020年度事業報告
- ② 2020年度決算報告
- ③ 監 査 報 告
- ④ 役 員 改 選
- ⑤ 2021年度事業計画案
- ⑥ 2021年度事業予算案
- ⑦ そ の 他

2020年度 事業報告（案）

1. 総会、役員会、委員会の活動

- ① 総会の開催〈書類審議〉 5月25日（月）
 - ② 役員会の開催 5月15日（金）、9月14日（月）
 - ③ 施設長会の開催 新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず
 - ④ 各種委員会の開催
 - ◆ 定例企画委員会 事業等の企画・運営・調整
 - ◆ 拡大企画委員会 事業等の企画・運営
 - ◆ 研修委員会 各種分野別研究会等の計画・実施
 - ① 地域の子ども研究会
 - ② 地域の子育て支援研究会
 - ③ 地域の障がい児・者研究会
 - ④ セツルメント研究会
 - ◆ 自然体験施設事業委員会
 - ① びわこ青柳浜 セツルの家の運営と活動
ワークキャンプ活動
 - ② びわこセツルの家改修工事
- 《 特別委員会 》
- ◆ バザー実行委員会 第22回自然体験施設応援バザーの企画・運営
 - ◆ 全国研修会準備委員会 日地協主催 第25回全国地域福祉施設研修会大阪大会
 - ◆ 全国児童部会準備委員会 日地協主催 第19回全国地域福祉施設研修会児童部会

2. 年間行事

5月 17日	第35回 ともだちドッジボール大会	中 止
5月 18日	大阪市地域福祉施設協議会総会	書 面 審 議
7月 ~ 日	第63回 大都市社会福祉施設協議会	中 止
7~ 8月	びわこキャンプ場 セツルの家の利用	滋賀県大津市青柳浜
9月 21日	第19回 全国地域福祉施設研修会児童部会	岐 阜 市
11月 15日	第50回 ともだちフェスティバル	長 居 公 園
1月 日	第26回 こども将棋大会	中 止
1月 日	新 年 会	中 止
1月 24日	第22回 自然体験施設応援バザー	中 止
2月 20日	第25回 全国地域福祉施設研修会	大 阪 市

3. びわこキャンプ場セツルの家の運営

①年間事業報告

• 6月16日	セツルの家利用打ち合わせ会（日程調整）	長居保育園
• 7月 5日	セツルの家ワークキャンプ	セツルの家
• 7月 6日	セツルの家開設準備	セツルの家
• 7月~8月	セツルの家夏季利用	セツルの家
• 9月11日	セツルの家消防訓練	セツルの家
• 9月11日	セツルの家夏季利用片付け	セツルの家
• 9月5~6日	中高生キャンプ	セツルの家
• 9月~6月	セツルの家夏季外利用	セツルの家

②施設整備

- ・浜側、駐車場側の草刈り、整備
- ・浜東側、溝の清掃、草刈り、整備
- ・洗濯衣類乾燥機新調 1台

③利用施設

- ・施設利用 11施設
- ・個人利用 7組

④利用泊数

- ・宿泊利用 27泊
- ・日帰り利用 2日
- 利用延べ人数 1,484人

(今年度は新型コロナウイルス禍での利用となり、泊数、利用人数が減少するが、個人利用が増える)

⑤利用施設からのアンケート

- ・豪雨になると浜が狭く水たまりが増え、駐車場も水浸しになる。
- ・7月の始めは、水温も低く水深も深い。
- ・就寝前に布団の上にムカデが出没し、右肩を刺され、救急で病院受診する。
- ・山ヒルが数匹見られる。
- ・電気(冷房、電灯など)ガス、冷蔵庫内など利用の節目には確認をしてほしい。
- ・水難事故の注意喚起のため駐在所の訪問を受ける。
(隣の水上バイクの方たちに注意をしてくれる)。
- ・予定していた消防訓練を夏の片付け(9月11日)に行う。

⑥担当

宮川、竹内 (長居保育園)

4. ワークキャンプ

①活動報告

- ・ 7月5日（日）、琵琶湖セツルの家を拠点としたワークキャンプ活動を実施

5. 自然体験施設応援バザー

①第22回 自然体験施設応援バザー

日 程 2021年 1月 24日（日）

開催場所 愛染橋保育園

- ・ 新型コロナウイルス感染症の為、不特定多数の人が集まる事を避けるため実施せず。

6. 調査活動

○調査名

「新型コロナウイルス感染拡大に対応する地域福祉施設の現状調査」

○期間

令和2年8月17日～9月30日

○対象

NPO 法人大地協会員施設の管理者および職員（回答には Google フォームを使用）

○趣旨（抜粋）

今回の調査では、令和2年2月以降現在（令和2年8月）まで、①各施設における影響、対応、現状と課題について②各施設の職員の方々にとって、どのような気づきや課題があったか、③どのような事業や活動が困難になったか、また備品の供給はどうだったか、④そのような困難な中でどのような工夫があったか、またどのような新しい活動や方法を考え、実施したか。⑤利用者とその家族、地域の人々との連絡や見守り、相談・支援等はどこまでできたか、⑥その他、日頃からの雇用・経済政策など生活条件の整備、防災対策などについてどのようなことが必要と感じたか、を皆様に、お聞きしたいと思います。

緊急事態宣言（1回目）が一旦解除されたとはいえ、まだ予断を許さない状況が続いております。また経済的困難も深刻な状態が続き、さまざまな家庭支援が必要とされております。調査にもとづいて、明らかになる課題を考え、他分野・他施設の新たな取り組みについても共に考えることができればと思います。とも

すると、何かをしないという選択が有利に思える時代に、何かをするのは勇気と根拠が必要です。この調査がこれからの活動に役立つことができればと願っております。

○結果

令和3年1月12日 メールにて集計結果を会員施設に配信

- ・ 施設長、管理者向けアンケート：回答 22 施設
- ・ 職員向けアンケート：回答数 128 名

○その他

- ・ 集計結果については、調査委員会で検討し、記述式のため回答内容が多岐に渡ることや、個別の回答が、今まで経験したことのない事態への対応に参考になることが非常に多い、との判断から、概ね回答者の記述通りに記載した。
- ・ 調査の継続については未定だが、3 回目の緊急事態宣言が発出されるなど、事態は日々変化している状況が続いており、今後も検討が必要である。

7. 職員の研修会の開催・参加

① 全国地域福祉施設研修会 第19回児童部会

- ◆ 日 程 2020年9月21日（月・祝）
- ◆ 開催場所 岐阜県 長良川スポーツセンター
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
東海地区地域福祉施設推進協会

② 2020年度 第25回全国地域福祉施設研修会

- ◆ 日 程 2021年2月20日（土）
- ◆ 開催場所 大阪市（育徳園保育所よりオンライン配信にて実施）
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
大阪市地域福祉施設協議会

③ 全体研修会（地域福祉研修会）の実施

- ・ 新型コロナウイルス感染症、感染拡大防止の為、実施せず。

8. 各種分野別研究会

I 地域の障がい児・者研究会

①活動方針

- 「地域の中で暮らしていく上での問題とは何かを明確にする」－発見
- 「地域の中で暮らしていく上ではどのような支援が必要なのかを明確にする」－実践
- 「共に学び、共に語る」－対等

②活動報告

(1) 研究会の開催

- ・第1～3回 育徳園保育所、第4回 望之門保育園
(開催時間：午後7時15分～9時00分)
- ・第5～7回 Zoomにて開催
(開催時間：午後8時15分～9時45分)

第1回	7/14	・コロナウィルス感染症への対応状況情報交換 ・今年度の活動計画
第2回	9/1	・事例検討 「障がいのある方とその父母の同居に関する事例」
第3回	10/13	・事例検討 「就学前児童の家庭支援の事例」 ・べてるの家の事例研究教材から学び意見交換 ・3/2に予定している研修会の検討
第4回	11/10	・事例検討 「自分の気持ちの理解が難しい子に対して、自分の行動を自分で考えるためには」 ・3/2 予定の研修会目的について検討
第5回	12/15	・事例検討 「学童期児童への支援事例」
第6回	1/26	・情報交換 ・フリートーク「個と集団」をテーマに
第7回	3/2	・次年度の活動計画 ～個々に学びたい・学ぶべきことは ※予定していた研修会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

Ⅱ. 地域の子ども研究会

①年間テーマ

「地域の子どもたちの豊かな生活・成長を目指す」
～踏み出す努力・視点・研究・還元～

②活動報告

(1) 研究会の開催について

- ・開催日：年間予定内の金曜日（おおよそ隔週） 開催時間：10:00～12:00
- ・会場：研究会参加施設 合計18回開催
※4～6月は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に休止。7月より再開。
※12月最終週～1月末まで休止。2月より再開。
(うち3回はZOOMでのリモートで開催。)

(2) 活動の4つの柱

(ア) 子どもたちとの活動

- ・2020年度子ども達との活動では「出会い、知り、繋がろう」を目標に掲げ、合同行事で生まれる子ども達の出会いとふれあいを得るために取り組んだ。

○ともだちドッジボール大会

新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止。

○ともだちフェスティバル

11月15日(日) 長居公園 自由広場 参加者 166名

- ・コロナ禍でドッジボール大会が中止となり、合同行事の開催自体が危ぶまれたが、子どもたちから行事を行ってほしいとの声が挙がり、ともだちフェスティバルの開催を決定した。健康観察カードの作成、例年の施設ごとのブースではなく研究会スタッフがブースを担当する、ドッジボールコーナーを作るなど子どもたちの意見も取り入れつつコロナ対策も講じ開催した。
- ・2021年度もコロナと共に生活していく中で地域の子ども研究会ができることを子どもたちの声を聞きながらより良いものを共に考えていきたい。

(イ) 情報交換

- ・学童期の子どもたちと関わる支援員同士、日々の現場での悩みなどを共有し、積極的に情報を獲得しに行く事を意識し、意見交換、ケース検討という形で共有しました。(保護者対応や発達につまづきのある子どもたちへの対応、保護者参加型のイベントについてや防災への取り組み等)を共有し他施設での対応を聞く事や、施設の垣根を越えて学童指導員としての役割と目指すべき姿を討議する場になるよう取り組んだ。
- ・今後も行い実践に活かせるように、個々の視野を広げ、スキルアップへ繋がるように実施したい。

(ウ) 研究活動

- ・ 学童支援員（放課後児童支援員）・地域福祉施設職員としての専門性を高める為、自ら学び共に研究してきました。研究活動内容をスタッフ間で協議し、2020年度は“自己責任論といじめ問題について”“コロナとの共生”“遊びについて”というテーマで研究を行った。しかし研究会自体の回数が例年より少なく、思うように研究活動を進めることができなかった。2021年度に今回のテーマを引き続き取り組んでいくか、新たなテーマで行うかは新年度研究会スタッフで話し合っていきたい。

(エ) 研修活動

- ・ 今年度の研修活動では、研究会スタッフの中から生まれた疑問ややりたいことを集約し研修テーマとした。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から地域の子ども研究会の時間内で研究会スタッフのみで行う研修（意見交換・学習会）とした。

Ⅲ. セツルメント研究会

①ねらい

- ・ セツルメント精神の現代化（理論と実践）と新たな社会問題や地域課題への早期発見と早期対応と予防という視点を持ち、研究、研修活動に取り組む。研究活動に関しては、研究誌「地域福祉の諸問題」への掲載など、その成果を広く社会に発信、還元する。
- ・ また、研究活動では、セツルメントの歴史からの学びや、日々の地域福祉実践から見えてきた課題などを通して地域に暮らすすべての人が安心して生活できる社会づくりに向けた学習会を行う。

②活動報告

(1) 研究活動

- ・ セツルメント研究会は、人権と平和の視点から、いま起こっている深刻な社会問題に対して、分野の壁を越えた知を結集し、私たちが直面する諸課題に挑むための研究を計画した。その目的は、誰ひとり取り残さない、つながりの再生と持続可能な共生社会を構想することにある。
- ・ 2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大によりセツルメント研究会としての活動は十分できなかった。しかし、第25回全国地域福祉施設研修会「共生^{とも}にいきるとは」の運営を担い、実行委員会とともに学びを深めた。また、大会のサブテーマである「新型コロナウイルス感染拡大のただなかで私たちができることへの挑戦は継続していかなければいけないと考えている。それは、いま社会で顕在化された、格差と貧困、孤立と孤独、分断と差別などの社会の痛みからの回復ではないだろうか。

(2) 研修活動

○歴史から学ぶ

- ・ 大地協やささまざまな地域実践の歴史から学び、現代におけるセツルメントの意義を明らかにすることを目的とした実践者へのインタビューについては、感染拡大防止の観点から自粛した。

○全体研修（地域福祉研修）

- ・ 今年度は、第25回全国地域福祉施設研修会（大阪大会）の実行委員会に参画して、公開講座（事前学習会）を担当する計画をしていたが、感染防止の観点から公開講座は実施せず、少人数の実行委員会メンバーでの学びにとどめた。

○先進的な活動をされている団体などとの連携と大地協精神の発信

- ・ 先進的な取り組みや全国でセツルメント的な活動をされている諸団体との連携、交流や「映画の自主上映会」を計画したが感染拡大防止の観点から自粛した。収束の折にはぜひ研究会として上映したい作品はある。

IV. 地域の子育て支援研究会

- ・ 新型コロナ感染拡大防止のため活動を中止した。

9. 職員厚生部

①ねらい

- ・ 施設間の職員交流を深める。

②活動報告

- ・ 夏を迎える会（7月頃）、夏を惜しむ会（9月頃）、忘年会（12月）、新年会（1月）などを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、大人数での会食を避ける、という観点から全て中止とした。

10. 広報宣伝部

① ねらい

- ・ ホームページ及びメーリングリストを使い、大地協の取り組みを、活動に協力、賛同いただいている方々（加盟施設、個人会員、利用者等）に報告する。

② 活動報告

- ・ メーリングリストを利用して、加盟施設及び個人会員に、役員会の報告、業務連絡や研修の案内を随時送信した。
- ・ ホームページに、各研究会の案内及び報告、日地協の全国研修の案内などを随時掲載しました。
- ・ 季刊誌大地協ニュースをホームページにて掲載しました。また大地協の取り組み、活動に協力・賛同いただいている方々（加盟施設・個人会員・大学、図書館、関係機関等）に季刊誌大地協ニュースを郵送にて報告した。

2020年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支決算書

(1枚目/2枚中)

科目		決算額	予算額	増減(△)	備考
収入	正会員会費	660,000	675,000	△ 15,000	
	個人正会員会費	57,000	45,000	12,000	
	調査研究・研修事業収入	100,000	210,000	△ 110,000	
	まちづくり事業収入	0	0	0	
	スポーツ文化的事業収入	0	10,000	△ 10,000	
	自然体験事業費	2,737,600	2,300,000	437,600	
	小中高生の生活体験事業収入	302,800	100,000	202,800	
	寄付金収入	80,000	110,000	△ 30,000	
	受取利息	55	55	0	
	雑収入	67,600	10,000	57,600	
	拠点区分繰入金収入	1,268,126	1,961,800	△ 693,674	
	積立金取崩収入	0	0	0	
	収入合計	5,273,181	5,421,855	△ 148,674	
支出	事務費	166,163	250,500	△ 84,337	
	会議費	42,948	150,000	△ 107,052	
	会費	66,000	110,000	△ 44,000	
	調査研究・研修事業費	0	280,000	△ 280,000	
	まちづくり事業費	0	0	0	
	スポーツ文化的事業費	0	0	0	
	自然体験事業費	3,134,017	3,611,300	△ 477,283	
	管理費	120,000	152,400	△ 32,400	
	バス借料	1,848,000	2,000,000	△ 152,000	
	備品・寝具	387,869	600,000	△ 212,131	
	修繕費	6,149	100,000	△ 93,851	
	保険料	69,590	420,000	△ 350,410	
	光熱水費(電話)	341,998	110,400	231,598	
	固定資産税	84,300	161,500	△ 77,200	
	自治会協力費	0	12,000	△ 12,000	
	ワークキャンプ経費	64,938	55,000	9,938	
	雑費	211,173	0	211,173	
	小中高生の生活体験事業費	359,430	110,000	249,430	
	雑費	48,780	80,000	△ 31,220	
	予備費	0	200,000	△ 200,000	
拠点区分繰入金支出	1,268,126	1,961,800	△ 693,674		
積立金積立支出	0	0	0		
支出合計	5,085,464	6,753,600	△ 1,668,136		
収支	収支差額	187,717	△ 1,331,745	1,519,462	
	前年度繰越金	1,924,633	1,924,633	0	
	次年度繰越金	2,112,350	592,888	1,519,462	

2020年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支決算書

(2枚目/2枚中)

拠点 科目		決算額	予算額	増減(△)
収入	正会員会費	660,000	675,000	△ 15,000
	個人正会員会費	57,000	45,000	△ 12,000
	調査研究・研修事業収入	100,000	210,000	△ 110,000
	まちづくり事業収入	0	0	0
	スポーツ文化的事業収入	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0
	小中高生の生活体験事業収入	286,000	0	286,000
	寄付金収入	0	30,000	△ 30,000
	受取利息	42	55	△ 13
	雑収入	67,600	10,000	57,600
	拠点区分繰入金収入	548,126	300,000	248,126
	積立金取崩収入	0	0	0
	収入合計	1,718,768	1,270,055	448,713
支出	事務費	151,803	250,000	△ 98,197
	会議費	42,948	150,000	△ 107,052
	会費	66,000	110,000	△ 44,000
	調査研究・研修事業費	0	200,000	△ 200,000
	まちづくり事業費	0	0	0
	スポーツ文化的事業費	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0
	管理費	0	0	0
	バス燃料	0	0	0
	物品・道具	0	0	0
	修繕費	0	0	0
	保険料	0	0	0
	光熱水費(電話)	0	0	0
	固定資産税	0	0	0
	自治会協力費	0	0	0
	ワークキャンプ経費	0	0	0
	雑費	0	0	0
小中高生の生活体験事業費	288,349	0	288,349	
雑費	48,780	30,000	18,780	
予備費	0	200,000	△ 200,000	
拠点区分繰入金支出	720,000	1,661,800	△ 941,800	
積立金積立支出	0	0	0	
支出合計	1,317,880	2,601,800	△ 1,283,920	
収支差額	400,888	△ 1,331,745	1,732,633	
前年度繰越金	1,924,633	1,924,633	0	
次年度繰越金	2,325,521	592,888	1,732,633	

事務局 職員厚生部 広報宣伝部		決算額	予算額	増減(△)
収入合計		3,317,607	3,485,400	△ 167,793
支出合計		2,960,862	3,435,400	△ 474,538
収支差額		440	0	440
前年度繰越金		0	0	0
次年度繰越金		0	0	0

#719の2		決算額	予算額	増減(△)
収入合計		3,317,607	3,485,400	△ 167,793
支出合計		2,960,862	3,435,400	△ 474,538
収支差額		440	0	440
前年度繰越金		0	0	0
次年度繰越金		0	0	0

山ノ内		決算額	予算額	増減(△)
収入合計		6	121,400	△ 121,394
支出合計		108,217	120,900	△ 12,683
収支差額		△ 108,651	0	△ 108,651
前年度繰越金		0	0	0
次年度繰越金		△ 108,651	0	△ 108,651

拠点 科目		決算額	予算額	増減(△)
収入	正会員会費	0	0	0
	個人正会員会費	0	0	0
	調査研究・研修事業収入	0	0	0
	まちづくり事業収入	0	0	0
	スポーツ文化的事業収入	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0
	小中高生の生活体験事業収入	0	0	0
	寄付金収入	0	0	0
	受取利息	0	0	0
	雑収入	0	0	0
	拠点区分繰入金収入	150,000	55,000	95,000
	積立金取崩収入	0	0	0
	収入合計	150,000	55,000	95,000
支出	事務費	0	0	0
	会議費	0	0	0
	会費	0	0	0
	調査研究・研修事業費	0	0	0
	まちづくり事業費	0	0	0
	スポーツ文化的事業費	0	0	0
	自然体験事業費	64,938	55,000	9,938
	管理費	0	0	0
	バス燃料	0	0	0
	物品・道具	0	0	0
	修繕費	0	0	0
	保険料	0	0	0
	光熱水費(電話)	0	0	0
	固定資産税	0	0	0
	自治会協力費	0	0	0
	ワークキャンプ経費	64,938	55,000	9,938
	雑費	0	0	0
小中高生の生活体験事業費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
拠点区分繰入金支出	85,062	0	85,062	
積立金積立支出	0	0	0	
支出合計	150,000	55,000	95,000	
収支差額	0	0	0	
前年度繰越金	0	0	0	
次年度繰越金	0	0	0	

ワークキャンプ		決算額	予算額	増減(△)
収入合計		150,000	55,000	95,000
支出合計		150,000	55,000	95,000
収支差額		0	0	0
前年度繰越金		0	0	0
次年度繰越金		0	0	0

#719の2		決算額	予算額	増減(△)
収入合計		150,000	55,000	95,000
支出合計		150,000	55,000	95,000
収支差額		0	0	0
前年度繰越金		0	0	0
次年度繰越金		0	0	0

地域の子ども研究会		決算額	予算額	増減(△)
収入合計		16,800	100,000	△ 83,200
支出合計		86,800	110,000	△ 23,200
収支差額		△ 13,480	0	△ 13,480
前年度繰越金		0	0	0
次年度繰越金		△ 13,480	0	△ 13,480

拠点 科目		決算額	予算額	増減(△)
収入	正会員会費	0	0	0
	個人正会員会費	0	0	0
	調査研究・研修事業収入	0	0	0
	まちづくり事業収入	0	0	0
	スポーツ文化的事業収入	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0
	小中高生の生活体験事業収入	0	0	0
	寄付金収入	0	0	0
	受取利息	0	0	0
	雑収入	0	0	0
	拠点区分繰入金収入	0	20,000	△ 20,000
	積立金取崩収入	0	0	0
	収入合計	0	20,000	△ 20,000
支出	事務費	0	0	0
	会議費	0	0	0
	会費	0	0	0
	調査研究・研修事業費	0	20,000	△ 20,000
	まちづくり事業費	0	0	0
	スポーツ文化的事業費	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0
	管理費	0	0	0
	バス燃料	0	0	0
	物品・道具	0	0	0
	修繕費	0	0	0
	保険料	0	0	0
	光熱水費(電話)	0	0	0
	固定資産税	0	0	0
	自治会協力費	0	0	0
	ワークキャンプ経費	0	0	0
	雑費	0	0	0
小中高生の生活体験事業費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
拠点区分繰入金支出	0	0	0	
積立金積立支出	0	0	0	
支出合計	0	20,000	△ 20,000	
収支差額	0	0	0	
前年度繰越金	0	0	0	
次年度繰越金	0	0	0	

#719の2		決算額	予算額	増減(△)
収入合計		0	20,000	△ 20,000
支出合計		0	20,000	△ 20,000
収支差額		0	0	0
前年度繰越金		0	0	0
次年度繰越金		0	0	0

#719の2		決算額	予算額	増減(△)
収入合計		0	20,000	△ 20,000
支出合計		0	20,000	△ 20,000
収支差額		0	0	0
前年度繰越金		0	0	0
次年度繰越金		0	0	0

地域の子ども研究会		決算額	予算額	増減(△)
収入合計		0	20,000	△ 20,000
支出合計		0	20,000	△ 20,000
収支差額		0	0	0
前年度繰越金		0	0	0
次年度繰越金		0	0	0

NPO法人 大阪市地域福祉施設協議会 財産目録

2021年(令和3年)3月31日 現在

(単位:円)

種類	場所等	使用目的	金額
預金	りそな銀行 萩ノ茶屋支店 普通預金口座 (望之門保育園)	会費受け入れ、支払い等	1,398,728
預金	りそな銀行 萩ノ茶屋支店 普通預金口座 (望之門保育園)	山の家 支払い等	668,190
預金	三菱UFJ銀行 大阪恵比寿支店 普通預金口座 (望之門保育園)	山の家 支払い等	1,810
預金	近畿大阪銀行 長居支店 普通預金口座 (長居保育園)	琵琶湖セツルの家関係	43,600
預金	ゆうちょ銀行 四〇八店 普通預金口座 (愛染橋保育園)	修繕積立金	6,000,022
現金	小口現金 (愛染橋保育園)	本部経費 支払い	0
現金	小口現金 (わかくさ保育園)	本部経費 支払い	0
現金	小口現金 (育徳園保育所)	企画委員会経費 支払い	0
現金	小口現金 (地域のこども研究会)	地域のこども研究会経費 支払い	0
現金	小口現金 (長居保育園)	琵琶湖セツルの家関係 支払い	0
土地	セツルの家 土地 623.03平米	セツルの家駐車場	30,000,000
資産合計			38,112,350

会長 倉光 慎二 様


NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会の監査結果について

帳簿、領収書等精査した結果、適正に処理されていることを確認いたしましたことをご報告いたします。

2021年3月30日(火)

NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会

監事

戸田 正三 

監事

篠瀬 実千代 

役員名簿

特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会

就任期間 令和1年5月27日～令和3年5月31日

役職名	氏名	施設名	備考
(会長) 理事	くらみつ しんじ 倉光 慎二	育徳園保育所	施設協 会長
(副会長) 理事	きむ へよん 金 恵栄	望之門保育園	大阪私保連 常務理事
(常務理事) 理事	こたに けいじ 小谷 啓二	愛染橋保育園	日地協事務局長
(特任理事) 理事	ながおか まさみ 永岡 正己	(個人会員)	大阪市社協副会長 日福大 名誉教授
理事	にしやま さちえ 西山 幸恵	阿さひ保育園	
理事	えびこ りゅういち 海老子 隆一	(特養) ひまわりの郷	
理事	まつの ごろう 松野 五郎	平和の子 子どもの家	大阪私保連 顧問
理事	おおかわ みつひろ 大川 明宏	(個人会員)	
理事	なしろ つぐもり 名城 嗣盛	やまと保育園	
監事	とだ しょうぞう 戸田 正三	北田辺保育園	
監事	しのせ みちよ 篠瀬 実千代	今川学園	
相談役	おかもと えいいち 岡本 栄一	大阪ボランティア 研究所所長	
相談役	まつむら ひろし 松村 寛	(社福) 水仙福祉会 理事長	大阪私保連 顧問
相談役	みやがわ ひさ 宮川 ヒサ	(社福) 柿の木福祉の園 理事長	

役員名簿(案)

特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会

就任期間 令和3年5月31日～令和5年5月 総会開催日

役職名	氏名	施設名	備考
(会長) 理事	くらみつ しんじ 倉光 慎二	育徳園保育所	施設協 会長
(副会長) 理事	なしろ つぐもり 名城 嗣盛	やまと保育園	
(常務理事) 理事	にしの しんいち 西野 伸一	大国保育園	
(特任理事) 理事	ながおか まさみ 永岡 正己	(個人会員)	大阪市社協副会長 日福大 名誉教授
理事	にしやま さちえ 西山 幸恵	阿さひ保育園	
理事	えびこ りゅういち 海老子隆一	(特養) ひまわりの郷	
理事	まつの ごろう 松野 五郎	平和の子 子どもの家	大阪私保連顧問
理事	おおかわ みつひろ 大川 明宏	(個人会員)	
理事	みやがわ しげお 宮川 成雄	長居保育園 乳児センター	
監事	とだ しょうぞう 戸田 正三	北田辺保育園	
監事	しのせ みちよ 篠瀬 実千代	今川学園	
相談役	おかもと えいいち 岡本 栄一	大阪ボランティア 研究所所長	
相談役	まつむら ひろし 松村 寛	(社福) 水仙福祉会 理事長	大阪私保連 顧問
相談役	みやがわ ひさ 宮川 ヒサ	(社福) 柿の木福祉の園 理事長	

